

令和3年度

令和3年7月6日

遷喬小だより 7月号

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬
～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

修学旅行 同心協力～行けることに感謝～

ONE TEAM～心を一つに 学校を一つに 最高の仲間たちと～



備中国分寺（1組）



鷲羽山ハイランド（2組）

《一日目》

見学のスタートは「吹屋ふるさと村」。ジャパンレッド発祥の地であるベンガラと銅の町を訪れました。銅山とローハ（ベンガラの原料）製造を営み巨大な財をなした「広兼邸」。映画のロケ地としても有名です。銅山を復元した「笹畝坑道」は、神秘的な坑内ですが、当時の作業の苦勞がひしひしと伝わってきました。

サントピア岡山総社で昼食の後は「備中国分寺」。岡山県唯一の五重塔は重要文化財に指定されています。全国10位の大きさを誇る作山古墳のすぐそばを通過し、吉備の国の歴史に触れることができました。

倉敷ではクラス毎に見学しました。

一つは「倉敷市立自然史博物館」。ナウマン象の模型や美しい蝶の展示など、貴重でめずらしい生き物に感動しました。

もう一つが「桃太郎のからくり博物館」。桃太郎の絵本や玩具などの歴史資料やだましからくり、そして、館長さんによる「ちくわ笛」の演奏も聴くことができました。



宿泊先である「備前屋甲子」の方に気持ちのよい挨拶をした後は、美味しい晩ご飯をおなかいっぱいいただきました。

5年生で宿泊体験できなかった6年生。

みんなで泊まる宿舎のひときは格別でした。

室長会では、よりよい旅行にするための前向きな意見交流がなされ、全員の行動に活かされたようです。自分たちで考えた宿でのきまりを守り、周りの人に迷惑をかけないで過ごせる姿には感心しました。また、自分たちのために働いてくださっている方に、改めて感謝の気持ちを持つことができました。



《二日目》

朝の準備もてきぱきとこなし、時間通り宿舎を出発しました。午後から訪れる鷲羽山ハイランドを横に見ながら、瀬戸大橋へ。

「世界一長い鉄道道路併用橋」の吊橋・斜張橋・トラス橋と瀬戸内海の景観を楽しみながら、四国へ入りました。

「四国水族館」ではグループ毎に友達と楽しく行動しました。

まず、お土産探しに走ったグループ。イルカやペンギン、クラゲ、シュモクザメ他、めずらしい魚たちをゆっくり見学したグループ。写真をしっかり撮りながら見学したグループなど。あっという間のひとときでした。

「中野うどん学校」では、うどん学校の先生によるリズム感のある指導にしたがい、手際よくうどん作りを楽しみました。家に持ち帰ったうどんはいかがだったでしょうか。うどん学校ならではの土産ももらいましたので、家でのおうどん作りに生かしてください。



昼食後は、お楽しみの「鷲羽山ハイランド」に到着。

絶叫系に乗るか乗らないか、各グループ内で相談しながらアトラクションを巡り、思いっきり楽しみました。元気なよい友達が飛び入り参加したブラジルサンバも盛り上がりました。

修学旅行のテーマのとおり、五感を働かせて学び、きまりを守り、いつも仲間を意識して行動できた旅でした。天候にも恵まれ、元気に楽しく旅行を終えた6年生。最上級生としての活躍をさらに期待します。